

めぐみイエス・キリスト教会

2019年3月3日(日)第一主日礼拝
週報「通算第445号」



2019年標題聖句

第Ⅱペテロ1章10節

《ですから、兄弟たちよ。ますます熱心に、あなたがたの召されたことと選ばれたこととを確かなものとしなさい。これらのことを行なっていれば、つまづくことなど決してありません。》

第一礼拝	毎週日曜日	午前10時～11時
第二礼拝	毎週日曜日	午後6時～6時45分
聖書研究・祈祷会	毎週水曜日	午後6時15分～7時15分

牧師 鈴木 竜 実
ますみ

※当教会は、モルモン教、エホバの証人(ものみの塔)、統一教会(原理福音)とは、一切関わりがありません。

◇◆◇2019年3月3日(第一主日礼拝)

第一礼拝 午前10時 第二礼拝 午後6時

司会・奏楽 鈴木竜実 牧師 奏楽 佐野 みゆき さん

◎礼拝プログラム

【前奏祈祷】

【賛美Ⅰ】 新聖歌171「今日まで守られ」 p. 246

【交読文】 No.29 詩篇第95篇 p. 903

【賛美Ⅱ】 新聖歌172「望みも消え行くまでに」 p. 248

【使徒信条】

【主の祈り】

【先週説教】

【賛美Ⅲ】 オリジナルNo.9「ひとつの心」

【聖書朗読】 ヨハネの福音書17章17節～20節(新約p. 198上段)

【祈 禱】

【説 教】 《聖め別ちとは?》 鈴木 竜実 牧師

【聖 餐 式】

【賛美Ⅳ】 新聖歌166「威光・尊厳・栄誉」 p. 236

【平和祈り】

【頌 栄】 新聖歌63「父・御子・御霊の」 p. 85

【祝祷後奏】

※本日の聖書箇所【ヨハネの福音書17章17節～20節】

17:17 「真理によって彼らを聖め別ってください。あなたのみ言葉は真理です。

17:18 あなたが私を世に遣わされたように、私も彼らを世に遣わしました。

17:19 私は、彼らのため、私自身を聖め別ちます。彼ら自身も真理によって聖め別たれるためです。

17:20 私は、ただこの人々のためだけでなく、彼らの言葉によって私を信じる人々のためにもお願いします。」

●ポイント1.「終わりの時代に起きること」とは？

※ローマ人への手紙1章26節～28節「パウロの嘆き」 (新約p.266下段)

1:26 こういうわけで、神は彼らを恥ずべき情欲に引き渡されました。すなわち、女は自然の用を不自然なものに代え、

1:27 同じように、男も、女の自然な用を捨てて男どうしで情欲に燃え、男が男と恥ずべきことを行なうようになり、こうしてその誤りに対する当然の報いを自分の身に受けているのです。

1:28 また、彼らが神を知ろうとしないので、神は彼らを良くない思いに引き渡され、そのため彼らは、してはならないことをするようになりました。

●ポイント2.「ソドムとゴモラの裁きから学ぶこと」とは？

※創世記18章20節～21節「主のアブラハムへの言葉」 (旧約p.24上段)

18:20 そこで主は仰せられた。「ソドムとゴモラの叫びは非常に大きく、また彼らの罪はきわめて重い。

18:21 私は下って行って、私に届いた叫びどおりに、彼らが実際に行なっているかどうかを見よう。私は知りたいのだ。」

※創世記19章24節～25節「硫黄の火の裁き」 (旧約p.26下段)

19:24 そのとき、主はソドムとゴモラの上に、硫黄の火を天の主のところから降らせ、

19:25 これらの町々と低地全体と、その町々の住民と、その地の植物をみな滅ぼされた。

●ポイント3.「聖め別ち」とは？

※ガラテヤ人への手紙2章20節「使徒パウロの確信」 (新約p.334下段)

2:20 私はキリストと共に十字架につけられました。もはや私が生きているのではなく、キリストが私のうちに生きておられるのです。いま私が、この世に生きているのは、私を愛し私のためにご自身をお捨てになった神の御子を信じる信仰によっているのです。

※ガラテヤ人への手紙5章16節～25節「御霊によって」(新約p.339上段)

◎先週のメッセージの概要【真理のみ言葉】

《イエス様は、父なる神様に十一弟子の為に取らなしの祈りをされています。「私は彼らにあなたのみ言葉を与えました。」と言われましたが、イエス様が語られた言葉は、父なる神様が語られた言葉と同一であることは学びました。

さてイエス様は、ヨハネから洗礼を受けた後、聖霊によって荒野に導びかれ、悪魔の試みを受けられました。その時、み言葉を引用されたのです。『人はパンだけで生きるのではない、人は主の口から出るすべてのもので生きる。』

それゆえ、イエス様は十二使徒に、その「み言葉」をお与えになられたのです。そしてそのことは、ペンテコステ以後の信徒にも当てはまるのです。

その次にイエス様は、「彼らをこの世から取り去って下さるようにというのではなく、悪い者から守って下さるようお願いいたします。」と、祈られました。

ヨブ記によりますと、悪い者であるサタンが、主なる神様(父なる神様)に、「ヨブはいたずらに神を恐れましようか。あなたは彼と、その家とそのすべての持ち物との回りに、垣を巡らしたではありませんか。あなたが彼の手のわざを祝福されたので、彼の家畜は地にふえ広がっています。」と、言ったことが書かれています。このことから主なる神様は、ご自身を信じ、信頼する者を守って下さることが分かります。

またイエス様は、「私がこの世のものでないように、彼らもこの世のものでありません。」と二回言われました。そしてみ言葉がそれを実証するのです。

最後の晩餐においてイエス様はこのように語られました。「だれでも私を愛する人は、私の言葉を守ります。そうすれば、私の父はその人を愛し、私たちはその人のところに来て、その人と共に住みます。」と。

私たちは、主イエス様の父なる神様への取らなしの祈りによって、圧倒的に守られています。悪魔は、神様の許しがなければ、私たちに指一本触れることは出来ません。主イエス様が語られた、真理のみ言葉に私たちが従い続けるのなら、私たちは常に、圧倒的な勝利者となり得るのです。》

◎お知らせ

※次回礼拝は3月10日(日)です。国技館にて催された「五千人の第九演奏会」は、無事に終わることが出来ました。主に感謝！また次回「聖書の学びと祈り会」は3月6日(水)午後6時15分からです。3月27日(水)はお休みします。